

## NEWSLETTER

NO. 35

11 April 2005

・教室をめぐる動き	・ ・ ・ ・ 1
・ JICA ヨルダン国イラク国向け第三国研修参加報告	・ ・ ・ ・ 2
・ 2005 年度地理学教室行事予定	・ ・ ・ ・ 3
・ 地理実習室（鶴川 14 号館）の利用について	・ ・ ・ ・ 4
・ 地理情報処理室および図書資料室（世田谷 10 号館）の利用について	・ ・ ・ ・ 4
・ 製本保存される卒業論文主題(2004 年度)一覧	・ ・ ・ ・ 5
・ 2004 年度における教員の研究活動	・ ・ ・ ・ 5
・ 2005 年 3 月卒業生の進路・就職先	・ ・ ・ ・ 7
・ 教員の研究室と電話番号・メールアドレス	・ ・ ・ ・ 7
・ 2005 年度教員在室時間割	・ ・ ・ ・ 8

### 【教室をめぐる動き】

2004 年度末から 2005 年度 4 月にかけての、先生方の動きです。

#### < 育児休業からの復職 >

磯谷 達宏 先生（育児休業・2004.9.16～2005.3.15 まで）

#### < 外部兼職 >

長谷川 均 先生 JICA（独立行政法人・国際協力機構）ヨルダン国イラク向け第三国研修「博物館・遺跡管理」運営指導調査専門家。（2005.2～2005.3；詳しくは次頁）

#### < 非常勤講師の退任 >

長岡 總子 先生 生物地理学，地理学野外演習 B，地理実習，地理学演習，地理学演習  
（磯谷先生の育児休業に伴うもの；2004.9～2005.3）

沖津 進 先生 環境論（大学院）（磯谷先生の育児休業に伴うもの；2004.9～2005.3）

#### < 非常勤講師の新任 >

沖津 進 先生 環境論（大学院） あらたに非常勤講師担当科目となった環境論ですが，結果的には沖津先生に続けて担当してもらうことになりました。

長岡 總子 先生 制度上は地理学教室とは直接関係ありませんが，長岡先生には今年度も国土館大学で「自然科学(生物系 A, B)」(工学部・政経学部向け)，「栽培」(工学部向け)を担当してもらうことになりました。

#### < 人文科学研究科委員長（再任；2006.3.31 まで） >

長島 弘道 先生

#### < 昇 格 >

加藤 幸治 先生 助教授に

今年度の専攻主任・学年担任・大学院幹事は以下の各先生です。

専攻主任	長谷川 均		
1 年	磯谷 達宏	2 年	加藤 幸治
3 年	内田 順文	4 年	野口 泰生
大学院幹事	内田 順文		

## 【JICA ヨルダン国イラク国向け第三国研修 「博物館・遺跡管理」運営指導調査 参加報告】

地理学教室の長谷川均教授と大学院博士課程2年・後藤智哉君の2名は、JICA(国際協力機構)の専門家として、ヨルダンハシミテ王国へ派遣された。戦後の混乱が続くイラクから、おもに遺跡の管理や発掘に携わる若い考古学者をヨルダンへよび、研修をおこなうというプロジェクトである。

研修にかかわる全ての経費は日本の外務省が負担し、ドイツ、フランス、日本の専門家が講師を務めるとい研修である。日本からは、国土庁大学イラク古代文化研究所のスタッフを中心に、文学部と工学部の教員がこれに加わった。日程や研修内容は下記のとおりである。地理・環境分野の私たちは、遺跡の立地環境の調査、リモートセンシングや地理情報システムを利用した発掘調査支援、遺跡管理システムなどを講習することであった。他分野の講師は、考古学、建築史、保存科学、測量などの分野の専門家である。

研修は1ヶ月以上にわたった。イラクの若い人達はヨルダン全土の遺跡を講習の場とし、フランスやドイツの研究者から講習を受け、最後の1ヶ月を日本隊とともにヨルダン北端にある遺跡で過ごした。私たちは、ウム・カイスというローマ時代からの遺跡の中にある、オスマントルコ時代の豪農の屋敷跡を改修した博物館に居住し、講習と調査にあたった。この研修は今年から3年間の予定で実施され、今後も地理・環境分野からの派遣が予定されている。

2005年

- 2/24 成田 - パリ経由 - アンマン
- 2/25 ~ 31 アンマンにて打合せ(ヨルダン考古学庁,日本大使館 JICA,ドイツプロテスタント研究所,)、ヨルダン渓谷にて事前調査
- 3/1 イラク、ヨルダンの研修生とともに、ウム・カイス遺跡へ移動
- 3/2 ~ 21 ウムカイス遺跡にて日本隊による研修。  
地理・環境分野の担当科目「地形図判読の基礎」、「乾燥地域の地形」、「リモートセンシング」、「地理情報システム」、「GPS」などで、いずれも実習を伴う講義であった。
- 3/22 イラクの研修生とともにアンマンへ移動
- 3/23 クロージングセレモニー。各国の在ヨルダン大使、研修関係者などのスピーチ、研修修了証の授与式など。
- 3/24-25 アンマン - パリ経由 - 成田



研修風景 講義は博物館の展示室の一室を使っておこなわれた



測量実習  
日本人講師による平板測量の  
実習風景

夕食後の楽しみ  
夕食の後，星降る野外での  
語りも貴重な異文化理解  
の場となった  
(左から2人目が長谷川教授，  
一番右が院生・後藤君)



### 【2005年度地理学教室行事予定】

5月26～27日	1年地理野外実習（地理学野外実習A）
6月4日	国土館地理学会
10月3～4日	2年地理野外実習（地理学野外実習B）
10月25～28日	3年地理野外実習（地理学野外実習C）
12月10日	卒業論文提出締切，国土館地理学会（同じ日です）
2月13～15日	卒論公開口頭試験

## 【地理実習室（鶴川14号館）の利用について】

1. 鶴川14号館4階の地理実習室は、学生の学習用に利用できます。実習室内に備え付けの図書は閲覧できますが、貸し出しはできません。無断で室外に持ち出すことは厳禁とします。また、地理学専攻学生専用の端末PC・5台とプリンタ、スキャナが設置されています。情報科学センターの講習を受けた学生に限り、インターネット、メール、その他のソフト(オフィス系)を使用することができます。
2. 周辺教室の講義の迷惑とならないよう静かに学習するようにして下さい。また、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

### 利用時間と利用方法

毎日9:00～16:30

利用希望者は9号館文学部事務室で「施設等利用願」に必要事項を記入の上、カギを受け取る。

必ず16:30までに施錠の上、文学部事務室にカギを返却する。

なお、下記の教員在室時間内には事務室でカギを借りなくても空いていれば自由に入室できます。

### 教員の在室時間

月曜日 10:40～16:00 (長谷川)

火曜日 9:00～15:00 (内田, 野口)

木曜日 10:30～14:30 (岡島)

### 実習室内備え付けの図書・資料

- ・地理学に関する基本的図書(鶴川図書館にはない本も多い)、地理学関連の辞典もあります。復習・レポート作成時に役立ちます。
- ・国勢調査、事業所統計、工業統計、商業統計、農業センサスなど主要な統計(南関東の諸都県のデータが中心)、道路統計年報、港湾統計年報、特定サービス産業実態調査報告書、サービス業基本調査報告など図書館にない資料もそろっています。人文地理関係の科目で有効に活用できます。
- ・以前、国土館大学文学部地理学教室の教員であった大崎晃先生より地理学及び関連分野の図書等を大量に寄贈いただきました。順次、整理・配架していきます。これによって地理学関係の図書は鶴川図書館以上に充実したものとなると思います。大崎先生にこの場をかりて御礼申し上げるとともに、学生諸君は期待して下さい。

## 【地理情報処理室および図書資料室（世田谷10号館）の利用について】

1. 世田谷10号館の地理情報処理室および図書資料室は、原則として教員が在校中のみ開け、それ以外の時間は施錠されます。つまり、教員が大学に来ていないときには、中へ入れません。教員の在校時間については、このニューズレターの教員在室表に示したとおりで、世田谷に最低一人の教員が来ている時間帯は、これらの部屋に入れることとなります(ただし、2階に研究室のない教員(長島・内田・磯谷・加藤)しかいない場合は、つねに鍵が開いているとは限りませんから、その場合は教員に告げて鍵を開けてもらう必要があります)。これ以外の時間帯でも、教員が学内にいれば鍵を開けてもらえます。教員を捜して下さい。
2. 情報処理室および図書室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

### 研究室図書の閲覧および貸出方法

貸出は、「図書貸出簿」に書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。

返却も、必ず在室教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって、各自責任を持って所定の書架に戻して下さい。

貸し出し期限は2週間です。厳守して下さい。

研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、情報処理室内でのみ閲覧・利用して下さい。

利用する人は(教員も含めて)、見たり借りたりした本を必ずもとの位置に戻しておくようにして下さい。本の位置を変えないようにすることは、利用しやすい図書室であるために守るべきマナーです。

以上を守らず、無断で図書などを持ち出した者、貸し出し期限を守れない者には、相応の懲罰を課します。

## 研究室購入主要図書資料リスト (2004 年度)

「千葉県の歴史」, 「地域環境と歴史景観」, 「日本の地形 2 北海道」, 「日本の地形 6 近畿・中国・四国」, 「生態学事典」, 「地理情報科学事典」, 「第四紀学」, 「生態学」, 「造園学」, 「生産と流通の近代像」, 「第四紀逆断層アトラス」, 「都市保全計画」, 「地域開発の来歴」, 「緑化・植栽マニュアル」, 「古記録による 16 世紀の天候記録」 ほか多数.

## 研究室購入主要備品リスト (2004 年度)

備品等: 液晶モニター, レーザー距離計, データスコープ (樹高計), 液晶プロジェクター (鶴川用)  
パソコンソフト: アドビ Illustrator CS, e. typist ver.10.0, ジャストシステム カルキング J,  
一太郎 2005 (バージョンアップ) デルタグラフ 5.5 など

\* これらは教員の指導のもと, 学生も使用することができます.

## 【製本保存される卒業論文主題(2004 年度)一覧】

- ・ 3月に行われた全国地理学科卒業論文発表大会では, 牛木 拓真さんと西 菜保美さんが発表しました.
- ・ 1986 年以降に審査された卒論の中から, 優秀なものや資料的価値の高い論文は製本され公開されています.  
製本された卒論は図書資料室で閲覧できます. 04 年度分は, 以下の論文が製本・保存されます.

番号	氏名	表 題	所属ゼミ
<b>&lt;自 然 1 &gt;</b>			
1	馬渡 明	伊豆半島における東岸と西岸の気候特性の違い 房総不連続線との関係を中心に	野 口
33	石月 拓洋	越後駒ヶ岳における雪崩地形の分布と特徴 アバランチ・シュートと筋状地形を例に	長谷川
34	上田季美恵	地震災害における避難場所の安全性評価 船橋市・市川市・松戸市・鎌ヶ谷市を事例に	長谷川
60	秋山 功治	ヒートアイランド現象と土地利用・天候との関係について 東京都立川市と日野市の一部を例に	野 口
75	長沢 直人	新潟県柏崎市における人工改変を受けた地形の特徴 4 時期の地形図をもとにした GIS による解析	長谷川
<b>&lt;自 然 2 &gt;</b>			
4	小林 俊輔	山梨県北部乙女高原の尾根型斜面に成立する林分の構造と更新	長岡(磯谷)
13	片山 容輔	三浦半島二子山付近における南, 北斜面間の比較による 常緑および夏緑広葉二次林の主要構成樹種の違い	長岡(磯谷)
39	牛木 拓真	東京都草花丘陵における谷頭凹地の樹種構成の特徴	長岡(磯谷)
48	富田 崇	山梨県松姫峠付近の落葉広葉樹林における主要構成樹種の更新状況について	長岡(磯谷)
68	保立 優子	静岡県伊豆半島北東部におけるニホンイノシシによる農作物被害 と被害対策の現状	長岡(磯谷)
<b>&lt;人 文 &gt;</b>			
31	清水 記久	横須賀城下町の歴史的変遷と地域構造	岡 島
51	碓田 真一	川越市における中心商店街の変容と来街者の変化	加 藤
52	西 菜保美	青梅街道沿いにおける建築物スカイラインの形成要因	加 藤
74	林 聡子	東京都台東区における子どもの遊び空間の三世代変化	内 田
89	鈴木 俊之	東京湾アクアラインと房総の観光産業の現状	加 藤

## 【2004 年度における教員の研究活動】

野口 泰生 教授

論文:

千葉県の自然誌 (本編 8) 「変わりゆく千葉県の自然」, 第 2 章気候の変遷, 第 2 節歴史時代以降の気候  
の変化, 2. 明治・大正期の気候変化 (2005)

## 長谷川 均 教授

### 執筆活動：

- ・「サンゴ礁は生き残れるか」, 2004年8月, GYROS No.5, 42 - 55pp.勉誠出版.
- ・『Coral Reefs of Japan』, 分担執筆, 2004年5月, Ministry of the Environment, Hitoshi Hasegawa, Hiroya Yamano の共著で「Ishigaki Island」を執筆, 212-218頁, 全356頁.
- ・『日本のサンゴ礁』, 2004年8月, 環境省. 『Coral Reefs of Japan』の日本語版. 220-226頁, 全374頁.
- ・「白保サンゴ礁の多様な景観」, 2004年8月, 地学雑誌, Vol.113, No.4, 巻頭カラー4頁および解説.

### 書評：

- ・CDブック 日本の海浜地形 福本紘著, 「堆積学研究」, No.57, 43-44, 2003
- ・Digital Photogrammetry Theory and Applications, Wilfried Linder 著: 「地学雑誌」Vol.113, No.3, 2004

### 取材協力：

自然保護, 2005/3・4「自然を記録するスキルアップ術 ベテランはどんなノートをつけているか？」

### 学会発表：

Hitoshi Hasegawa, Extensive land modification and the decline of the coral reef condition A case study of the Shiraho, Ishigaki Island, Okinawa. 10th International Coral Reef Symposium, Okinawa Convention Center. June, 2004

### 学会活動：

- ・東京地学協会「地学雑誌」編集委員
- ・(財)日本自然保護協会「泡瀬干潟自然環境調査委員会」委員
- ・日本地理学会「地理情報システム技術資格推進委員会」委員

### 研究助成：

- ・2004年度, 文科省 教育研究装置・研究設備「デジタル3次元計測システム」, 17,073,000円

## 内田 順文 助教授

### 論文：

中国・四国・九州地方における都市の観光イメージについて—観光パンフレットを用いた場所イメージの定量的分析の試み—. 国土館大学地理学報告 No.13, 1-16頁.

### その他：

旅をしてわかる ヨーロッパと日本の考え方の違い. 地理月報 No.481, 1-4頁.

## 岡島 建 助教授

### 論文：

- ・「近代移行期の水上交通に関する研究動向」交通史研究 56, pp.69-79, 2005.
- ・「近代都市大垣の発達と河川水運の利用」人文学会紀要 37, pp.155-174, 2005.

### 口頭発表：

- ・「近代移行期の水上交通に関する研究動向」2004.5.9 交通史研究会大会シンポジウム「21世紀の交通史研究」江戸東京博物館
- ・「近代都市計画における運河事業の展開(3)」2004.9.12 日本地理学会・近代日本の地域形成研究グループ集会 箱根静雲荘

### 学会活動：

- 交通史研究会 常任委員
- 交通史研究会 選挙管理委員
- 歴史地理学会 運営委員
- 歴史地理学会 選挙管理委員

## 磯谷 達宏 助教授

### 口頭発表：

- ・大野啓一・磯谷達宏・小川みふゆ. 冬緑種を主要構成要素とする暖温帯の沢沿いソデ群落. 植生学会第9回大会. 2004年10月.

### 学会活動：

植生学会会計監事

## 加藤 幸治 講師

### 論文：

- ・加藤幸治(2004)：『事業所サービス業の地域構造に関する経済地理学的研究』明治大学大学院文学研究科博士学位請求論文。(2004.12.10 提出, 2005年2月25日承認)
- ・加藤幸治(2005)：国・県の出先機関や大企業の管理範囲。森川洋・篠原重則・奥野隆史編『日本の地誌 9 中国・四国』, 朝倉書店, pp.72-73.
- ・加藤幸治(2005)：サービス業と支店立地。森川洋・篠原重則・奥野隆史編『日本の地誌 9 中国・四国』, 朝倉書店, pp.72-73.
- ・加藤幸治(2005)：仙台市の情報サービス業における「地元企業」, 『人文学会紀要』(国土館大学文学部) 37, pp.175-186.

### 学会活動：

- ・経済地理学会 常任幹事 2004年度～, 総務副委員長 2004年度～
- ・経済地理学会 第52回大会実行委員ソフト部門委員・2004年度.

## 【2005年3月卒業生の進路・就職先】

富士平安閣	成城石井	(株)ANT	キャンドウ(100円ショップ)
SDプランニング	吉野石膏(株)	LEC東京リーガルマインド	
シーズンズインターナショナル(飲食)		山手冷蔵(株)	チムニー(居酒屋チェーン)
トナミ運輸	ジローレストランシステム		日本郵政公社
白十字(株)	トリックスターズグループ(アミューズメント)	JTB	
TAKAQ	段戸測量設計(株)	光通信グループ	(株)コムロ
伊藤園	TVカメラアシスタント		

ただし, 2月初めの時点で教室に報告のあった分のみ.

## 【教員の研究室と電話番号・メールアドレス】

[ 世田谷 ]	長島：10号館 4F1025 研究室	03-5481-5278	E-mail:nagasima@kokushikan.ac.jp
	野口：10号館 2F1004 研究室	03-5481-3246	E-mail:noguchi@kokushikan.ac.jp
	長谷川：10号館 2F1003 研究室	03-5481-5247	E-mail:hasegawa@kokushikan.ac.jp
	内田：10号館 4F1025 研究室	03-5481-5291	E-mail:uchida@kokushikan.ac.jp
	岡島：10号館 2F1002 研究室	03-5481-3245	E-mail:okajima@kokushikan.ac.jp
	磯谷・加藤：10号館 2F 地理情報処理室または教員コミュニティルーム		
[ 鶴川 ]	磯谷：12号館 3F302 研究室	042-736-8125	E-mail:isogai@kokushikan.ac.jp
	加藤：12号館 3F307 研究室	042-736-8130	E-mail:k2kato@kokushikan.ac.jp
	長島・野口・長谷川・内田・岡島：14号館 4F 地理準備室		

次ページ記載の時間以外の面会, 相談などは Appointment によります。相談, 質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅, 特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。

教室主任長谷川より：原則として, 月・土以外は世田谷研究室にありますが, 相談など時間のかかる面接等に関しては, 事前にアポをとってからにして下さい。

## 【 2 0 0 5 年 度 教 員 在 室 時 間 割 】

凡例

===== 講義中      \_\_\_\_\_ オフィスアワー      ..... 在室の場合が多い

\* 春のみ：春期のみ講義。      \* 秋のみ：秋期のみ講義。

\* 3：第3または第2金曜日は教室会議(12:00-)・教授会(13:00-)があり全員が世田谷に出校しています。

	校舎		9:00 ~ 10:30	10:40 ~ 12:10		12:50 ~ 14:20	14:30 ~ 16:00	16:10 ~ 17:40
月	世田谷		長島					
			野口					
			岡島					
鶴川					長谷川			
			磯谷					
		加藤						
火	世田谷		長島					
			長谷川				春のみ	
	岡島	秋のみ						
	加藤	春のみ					秋のみ	
鶴川			野口	春のみ				
	内田			春のみ				
			磯谷					
水	世田谷	長谷川						
			磯谷					
	鶴川		加藤					
木	世田谷		野口					
			長谷川					
	内田							
	鶴川			長島				
		岡島						
磯谷		多摩校舎						
		加藤						
金	世田谷		長谷川					
			内田					
		岡島						
	鶴川		磯谷					
		加藤						
土	世田谷	内田						
	鶴川							